年度	2023
講義コード	15286
講義名称	医療管理
科目英文名	Medical Management
講義副題	
開講責任部署	総合人間自然科学研究科（修士課程） 医科学専攻
講義区分	
基準単位数	2.0
時間割	1学期: 集中講義, 2学期: 集中講義
講義開講時期	通年
配当学年	1
遠隔授業	
区分1	
区分2	
資格等	

担当教員

氏名	所属	E-mail
小林　道也	医学部	kobayasm@kochi-u.ac.jp
岡本　健	医学部	okamoto@kochi-u.ac.jp

授業実施方法	オンライン非同期型のみ

副題【SUBHEADING】

【テーマ（日本語）】(IN JAPANESE)	医療安全管理と病院管理
【テーマ（英語）】(IN ENGLISH)	Medical Safety management and Hospital Administration

オフィスアワー 【OFFICE HOURS】	事前にメール(m18@kochi-ac.jp)で予約のこと
学生相談場所 【OFFICE LOCATION / ROOM 】	管理棟2階医療学講座医療管理学分野
履修希望学生に求めるもの 【PREREQUISITES / REQUIREMENTS】	本学医学部および附属病院の使命の一つに地域医療への貢献がある。そのためには地域の病院の医療管理の向上に寄与できる人材を育てたい。講義では医療安全・感染対策・栄養管理・辱創管理他、当院で機能している各対策チームの重要性を理解させる。

教員相互参観授業公開日程【OPEN CLASS OBSERVATION】

【公開できる週】	全て公開しない

備考 【NOTES ON CLASS ENROLLMENT】	担当教員は皆医師免許を有する実務家教員。

カリキュラムチェックリスト【CURRICULUM CHECK LIST】

【授業科目の主題・目的(箇条書)】（COURSE AIMS）	医療安全管理の基本を理解する。 医療安全管理の実際を理解する。

授業の到達目標【COURSE OBJECTIVES & CURRICULUM CHECK LIST】

授業科目の到達目標 （COURSE OBJECTIVES）	知識・理解 knowledge /understanding	思考・判断 thinking / judgement	関心・意欲 interest /eagerness	態度等 positive attitude	技能(技法)・表現 skill(technique)/expression
医療安全管理の基礎を理解する。	○	○	○	○	
病院における各部署での医療安全管理の実際を理解する。	○	○	○	○	
日本の医療行政の歴史を理解する。	○	○	○	○	

授業時間外の学習 【STUDENT PREPARATION & REVIEW AT HOME】	所属施設での医療安全管理に関する活動に参加する。
授業計画表（テキスト形式）【LESSON PLAN】	目標・目的 １）医療関連施設、特に病院における、合理的・科学的な運用管理能力を身につけるため、関係法規、医療経済、医療資源の組織と機能について学習する。 ２）病院内の運営管理、さらに院内感染を含めた安全管理を行う能力を身につけるため、附属病院における実際の活動を通じて学ぶ。 内容・計画 本学医学部および附属病院の使命の一つに地域医療への貢献がある。そのためには、地域の病院の医療管理の向上に寄与できる人材を育てたい。 講義にて、医療安全・感染対策・栄養管理・辱創管理など、現在、当院で機能している各対策チームの重要性を理解させる。 教材はその都度、担当教員より配布する。購入の必要なテキストについては別途通知する。

教科書・参考書 【COURSE TEXTBOOK / REFERENCE BOOKS】	教材はその都度、担当教員より配布する。購入の必要なテキストについては別途通知する。

成績評価の基準と方法【GRADING POLICIES/CRITERIA】

評語	評点	基準
秀	90点～100点	到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握し、標準的に達成している水準をはるかに上回る成績
優	80点～89点	到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握し、標準的に達成している水準を上回る成績
良	70点～79点	到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握し、所定の課題について活用していると判定でき、標準的に達成している水準程度の成績
可	60点～69点	標準的に達成している水準を下回るが到達目標に示した知識・技能・考え方などを理解・把握していると判定できる成績
不可	59点以下	到達目標に示した知識・技能・考え方などが理解・把握できておらず、単位修得にふさわしくないと判定できる成績

成績評価の基準と方法 【GRADING POLICIES/CRITERIA】	レポートよって判定。

パソコン必要度【NECESSITY OF PCs】

【パソコン必要度】 **（NECESSITY OF PCs）**	必ずしも必要ないが推奨 授業中の活用を推奨